

令和元年度 第1回市川市史編さん委員会

日 時:令和元年6月28日(金)
18時20分~20時00分
場 所:全日警ホール 2階 第3会議室1

会 議 次 第

議 題 1. 委員長、副委員長の互選
 2. 第4巻について
 3. 第2巻について (専門部会報告)

報 告 1. 令和元年度の事業内容について
 2. 第5巻について
 3. 各巻の調査の進捗について (1巻・2巻・5巻)

連絡事項

閉 会

配布資料

- 資料 1 刊行計画
- 資料 2-1 専門部会 (第2巻) 会議報告
- 資料 2-2 第2巻目次 (平成25年編さん委員会報告)

刊 行 計 画

資料1

- 発行年
- △ 調査報告書(資料集)等発行年

令和元年6月現在

年度		75周年			80周年					85周年				
		2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31(R元)	2020 R2	2021 R3
歴史編	第1巻 「地形と環境」						△						○	
	第2巻 「ムラとマチ」								▲					○
	第3巻 「まつりごとの展開」			▲		▲	△				●			
	第4巻 「変貌する市川市域」										○ →	○		
民俗編	第5巻 「台地・町・海辺の暮らしと伝承」								▲			△ ○		
自然編	第6巻 「都市化と生きもの」							●						
通史編	第7巻 「通史編(仮称)」													○
写真図録「この街に生きる、暮らす」							●							
「市史研究いちかわ」		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○

専門部会（第2巻）会議報告

1. 開催日

令和元年5月16日（木）

出席者：吉村武彦委員、石川日出志委員、村田隆三委員、事務局

2. 検討事項

<構成内容>

- (1) 2巻の特色は「考古・近世が厚い内容であること」である。
- (2) 目次は平成25年度のものに基づき、章ごとに改めて検討する。その際、巻全体の構成や他の章に影響の及ばない範囲の検討・修正とする。
- (3) 近世は7章を設けるので全7章構成となる。この章立てのなかで内容を調整する。

<編さん体制>

考古・古代：石川日出志委員

中世：湯浅治久委員

近世：村田隆三委員、村井早苗委員（令和元年6月1日より委嘱開始）

<編集委員会の開催>

第1回を7月初旬に予定

- 議題（案）：ア. 目次（章・節まで）の確認、各章ページ割（おおよその分量）
イ. 執筆候補者の選出状況
ウ. 執筆細則の検討（3巻に沿う）
エ. 今後の予定

第2巻 ムラとマチ（平成25年度第2回編さん委員会）

第2巻では市川市域で繰り広げられた人々の営みを、郷土市川のムラやマチという最も身近なものなりたちにスポットを当て、旧石器時代から江戸時代に至る時間軸のなかで描くことを目的としている。

最古の市川人が住み始めた旧石器時代、貝塚の恵みを受けた縄文時代をへて、暮らしも弥生以後、政事の時代を迎える。古墳時代から古代、そして中世・近世へと展開するくらしの実像をさまざまな手法から明らかにする。

第1章 市川最古の住民たち

—旧石器時代—

- 第1節 最古の住民たちとその遺跡
- 第2節 赤土に眠る石の文化
- 第3節 旧石器時代から縄文時代へ

第2章 縄文の海と貝塚

—縄文時代—

- 第1節 縄文海進と貝塚の形成
- 第2節 道具と施設が語る生活の様子
- 第3節 縄文人の身体と精神世界
- 第4節 消えゆく縄文のムラと貝塚

第3章 社会の変動とムラの展開

—弥生～平安時代—

- 第1節 稲作のはじまりと環濠のムラ
- 第2節 葛飾の覇者の出現とムラの変貌
- 第3節 国府をめぐるマチとムラ

第4章 鎌倉～戦国時代の

村町のすがたといのり

—鎌倉～戦国時代—

- 第1節 **中世房総の荘園公領と環境**
- 第2節 鎌倉時代の市川
- 第3節 南北朝～室町時代の市川
- 第4節 戦国時代の房総と市川
- 第5節 板碑にみる中世市川の信仰と郷村

第5章 地域を支えた村・町の仕組と営み

—江戸時代1—

- 第1節 村の概況
～村明細帳の世界～
- 第2節 村の生業と生活
- 第3節 御用留からみた社会像
- 第4節 村役人交替をめぐる様相
～曾谷村を中心に～
- 第5節 寺社と地域
- 第6節 用水の成立と展開
～内匠堀を中心に～

第6章 行きかう人々と地域社会

—江戸時代2—

- 第1節 市川・小岩関所の様相
～江戸川の管理をめぐる～
- 第2節 木下道と行徳船
～銚子から日本橋までの交通を
めぐる～
- 第3節 各地に残る「行徳道」
～塩をめぐる交流～
- 第4節 文人・文化の交流
- 第5節 本多藩支配をめぐる人との交流

**第7章 近世でもう一章設ける。
第3巻で扱わないこととなった3巻6
章と7章の内容をまとめて一章とす
る。**

※章節タイトル（特に網掛け部分）を再考する